

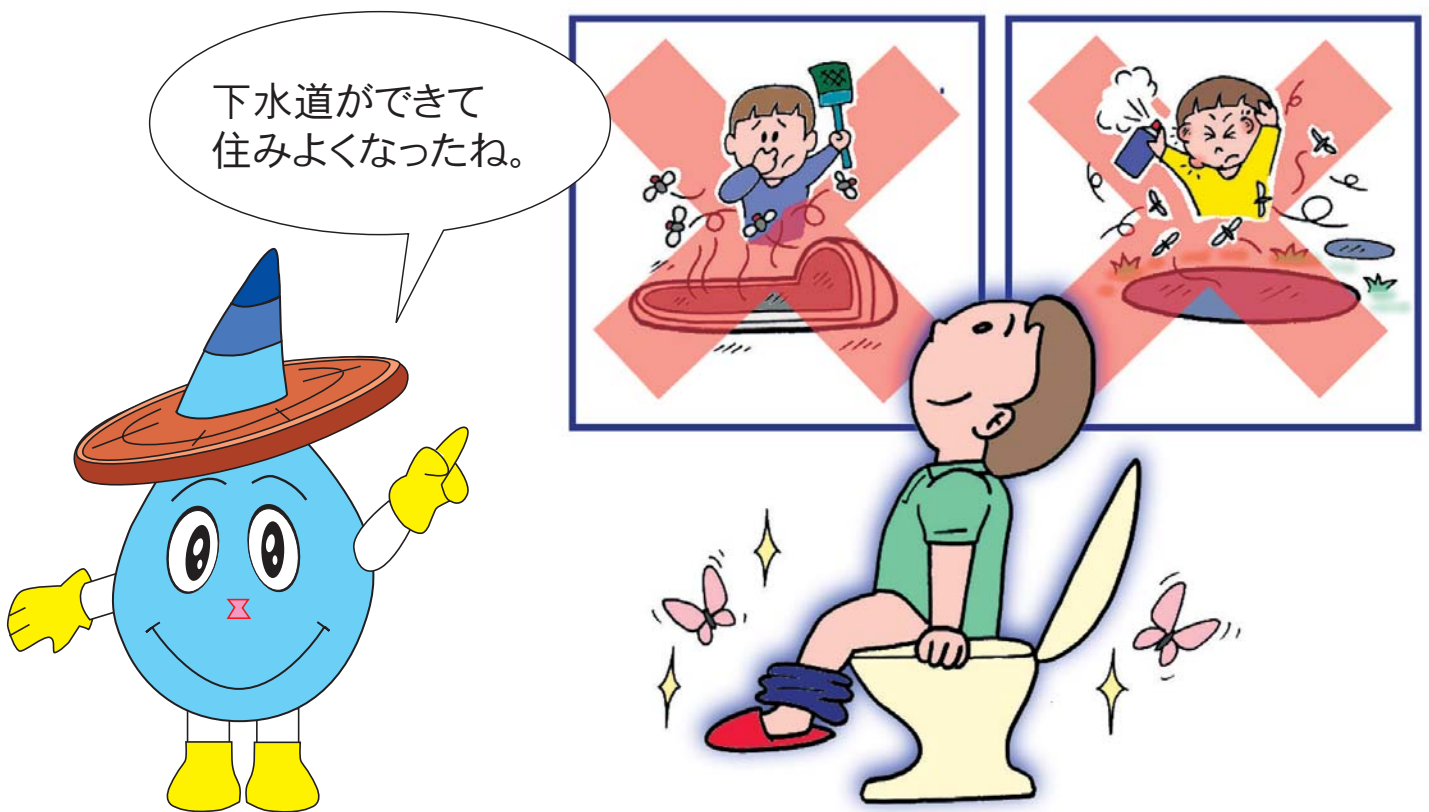
7 下水道ってなんだろう？

－ 下水道の4つの役割 －

下水道とは、わたしたちの生活から出る汚水（使って汚れた水）を下水道管を通して、下水処理場へ集め、きれいにしてから川や海に返すしくみです。

では、下水道はいったいどんな役割をもっているのでしょうか？

① 住みよい環境を作る



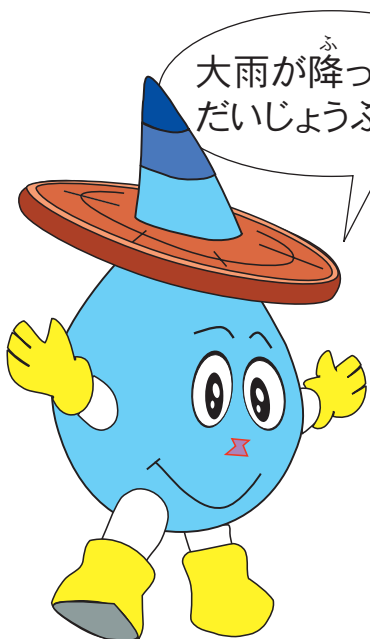
下水道があると、使った水はすぐに下水道管に流れます。ですから、汚水が家のまわりにたまらず病気の原因となるハエやカの発生を防ぎ、住みよい環境を作るのに役立ちます。

② 川や海を汚れから守る (水質保全)



汚水を川や海に直接流さずに、きれいにしてから返すので、川や海が汚れるのを防ぎます。

③ 大雨に強いまちを作る (浸水防止)



大雨が降ったときでも、雨水を下水道管で流してしまうので、町の中が水びたしになるのを防ぎます。

ビルや家が建ったり、道路や駐車場がアスファルトなどで舗装されると、降った雨は土にしみこま
ず、一度にたくさんの雨が排水路に流れ出し、浸
水(水につかる)災害が発生しやすくなります。

浸水のない安全な街をつくるため、上下水道
局では大きな雨水管やポンプ場をつくり、す早く
雨水を川に放流しています。



台風による浸水 下地町
1990年(平成2年)9月



しもじう すいかんせん ちよつげい
下地雨水幹線 直径3.0m
2001年(平成13年)12月



しもじ
下地ポンプ場
2005年(平成17年)3月



うすい
雨水ポンプ
うすい
大雨のとき、雨水をす早くみあげて川
ほうりゅう
に放流します。

④ リサイクルする

汚水をきれいにしたあと出た汚泥(おもに微生物が沈んだ泥)や処理水(汚水を
きれいにした水)は、別のことにまた使うことができます。このことを「リサイクル」とい
います。さて、どのようにしてリサイクルされているのでしょうか。

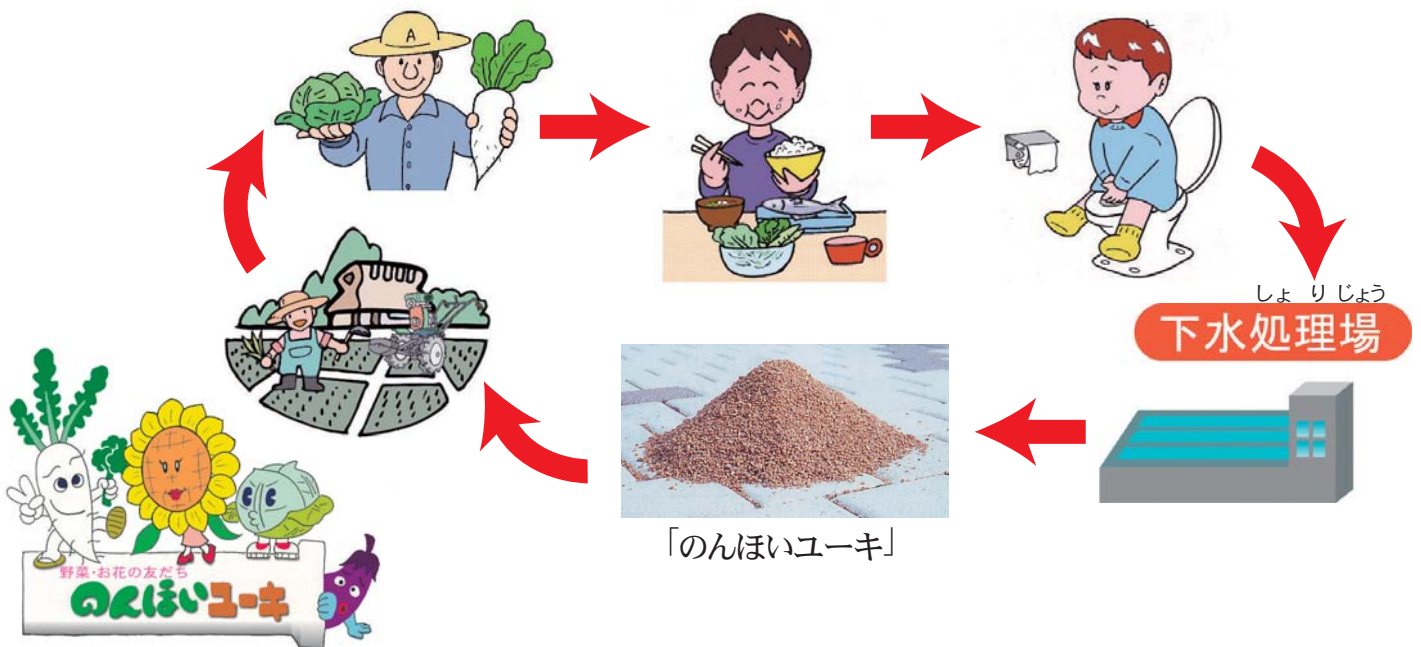
(1) のんほいユーキ

下水処理場^{しよりにじょう}で出てくる汚泥^{おでい}は、野菜^{やさい}や花の成長に役立つ栄養分^{えいようぶん}をたくさん含ん
でいます。豊橋市では、この汚泥^{おでい}を「のんほいユーキ」と名づけました。畑^{かていさい}や家庭菜
園^{えん}などの肥料^{ひりょう}として、多くの方に広く使っていただいています。

平日に中島処理場^{しよりにじょう}へ取りに来て、家で利用^{りよう}してください。



ユーキって何?ユーキは有機^{ゆうき}のこと。
有機^{ゆうき}とは動物・植物^{ひりょう}からできた肥料。



しよりすい (2) 処理水のリサイクル

下水処理場できれいにされた処理水は、街路樹や公園の花壇の水まき用に利用されます。



水もリサイクル
するんだね。



中島処理場では、処理水を使って「トンボ池」を作りました。この池では、ヤゴ・メダカ・こいなどが住んでいて自然の水辺のようになっています。ヤゴは、夏から秋にかけてトンボになり、飛び回ります。

ぜひ、一度見にきてください。



しよりじょう
中島処理場のトンボ池

しゆるい
いろんな種類のヤゴが
住んでいるよ。

